

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和1年10月3日(2019.10.3)

【公表番号】特表2017-522984(P2017-522984A)

【公表日】平成29年8月17日(2017.8.17)

【年通号数】公開・登録公報2017-031

【出願番号】特願2017-506295(P2017-506295)

【国際特許分類】

A 6 1 M 1/00 (2006.01)

【FI】

A 6 1 M 1/00 1 0 3

【誤訳訂正書】

【提出日】令和1年8月8日(2019.8.8)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 1 8

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 1 8】

図8は付属部品の断面図を示す。図8に見られるように、蓋 25および容器26は統一された部品片である。栓27は、内容物排出装置を洗浄するために使用されるいくつかの液剤が空間28に注がれた後に容器26の縁に留められる、別個の部品である。容器26が栓27によって閉められたとき、洗浄のために使用される剤は、そこからは漏出できない閉鎖空間内にある。栓27は、栓27が液体を容器26の中央区域から押しのけ、その結果液体を容器26の側壁に移動させて寄せるよう、蓋25および容器26の中央に位置づけられる栓27の部分が容器26の内側内に延在するように、成形される。しかしながら、容器26の中央の、容器26の底と栓27の末端部との間には、容器26の側壁上の液体と接続している液体を有する間隙29が残っている。容器26の内側の底には、栓27の末端部が容器の底と接触するのを防ぐ隆起部があってもよい(図8には示さず)。隆起部は、容器26の中心点から容器26の側面に向かって放射状に延在してもよい。